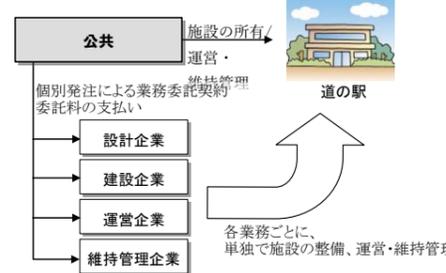
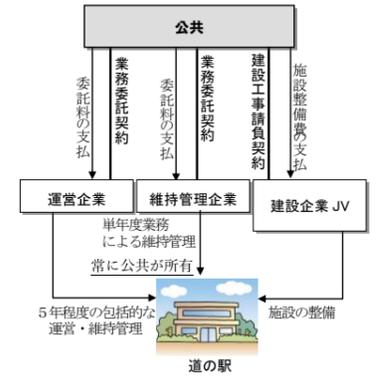
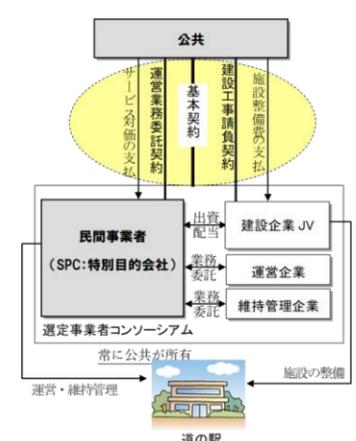
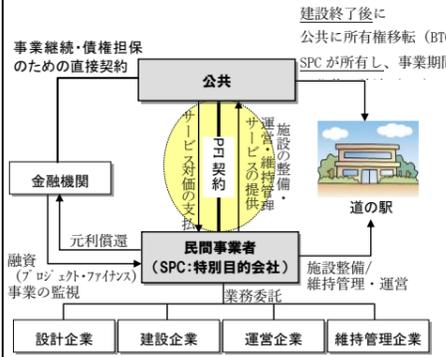
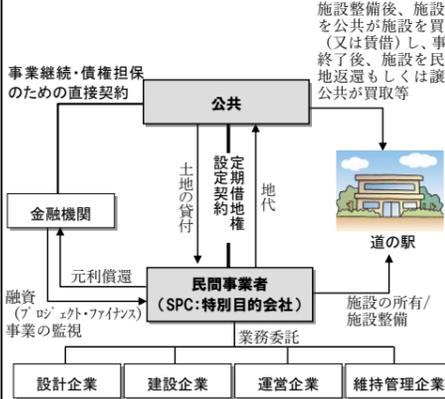


■本事業で想定する事業手法

道の駅整備・運営事業で想定される事業方式は次のとおりである。右のほうに行くほど民間事業の割合が高くなる。

	従来方式 (公設公営方式)	DB+O 方式	DBO 方式	PFI 方式	定期借地方式+公共施設買取 (又は公共施設テナント)方式
概要	 <p>公共が起債等により資金調達等を行い、公共自らが施設の設計、建設、運営、維持管理について個別に事業者へ委託して実施する従来の方式。</p>	 <p>公共が起債等により資金調達等を行い、公共自らが施設の設計及び建設について一括事業として事業者へ発注するとともに、維持管理、運営については包括的に民間事業者へ委託する方式(施設整備と維持管理・運営を分離発注)。</p>	 <p>公共が起債等により資金調達等を行い、民間事業者は施設の整備から、維持管理・運営までを一括事業として実施する方式。PFI法に準じて行われる場合が多い。</p>	 <p>民間事業者が金融機関等に資金調達を行ったうえで、施設の整備から、維持管理・運営までを一括事業として実施する方式。PFI法に基づき実施される。</p>	 <p>公共が敷地を民間事業者に賃借し、民間事業者の資金調達により、民間事業者が施設の整備を行う。公共施設部分は一部施設を公共が買い取る、又は賃借することとなる。道の駅の先事例においては、定期借地方式+公共施設買取方式が採用されている。</p>
資金調達	公共 (起債等)	公共 (起債等)	公共 (起債等)	民間 (金融機関)	民間 (金融機関)
施設整備	公共	公共	公共 (維持管理・運営) との一体的事業	民間	民間
施設所有	公共	公共	公共	公共(BTO) 民間(BOT)	民間
維持管理 運営	公共	民間 (5年程度の 包括委託)	民間	公共(BTO) 民間(BOT)	民間
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○熟知した手法であり、庁内外機関との調整や、事業実施のためのプロセス(体制、法律、制度等)が定型化されていて理解しやすい。</li> <li>○公共のコントロールによって事業を実施できる一方、公共がすべてのリスクを負担する。</li> <li>○事業全体の効率性や経営的視点から事業をコントロールするメカニズムがなく他の方式と比べて高額となる可能性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設計・建設と維持管理・運営が分離発注であり、既存施設で多くみられる。</li> <li>○維持管理・運営部分については包括委託のため、民間の創意工夫、効率化によるコスト低減、サービスの向上が期待できる。</li> <li>○設計・建設に伴うリスクは公共が負担する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設計・建設から維持管理・運営の包括委託のため、民間の創意工夫、効率化によるコスト低減、サービスの向上ができる。</li> <li>○民間事業者による附帯事業(主に、独立採算による自主事業等)の提案も可能である。</li> <li>○PFI法に準じて行われる場合が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民間事業者が資金調達を行うため、公共による施設整備のためのまとまった資金調達は不要となる。</li> <li>○設計・建設から維持管理・運営の包括委託のため、民間の創意工夫、効率化によるコスト低減、サービスの向上が期待できる。</li> <li>○民間事業者による附帯事業(独立採算による施設整備や運営等)の提案も可能である。</li> <li>○PFI法に基づく事業となり、PFI法に則った手続きが必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民間事業者が資金調達を行うが、公共施設を買い取る場合一括財政負担が必要となる。</li> <li>○民間仕様での施設整備及び維持管理・運営(民間施設部分)となるため、施設整備コスト低減が期待できる</li> <li>○定期借地契約の種類によるが、事業期間終了後は、施設を公共が買い取る又は更地返還することが原則となる。</li> </ul>